

広島市立広島市民病院
高精度放射線治療システム賃貸借

技 術 仕 様 書

広島市立広島市民病院

1. 調達の背景及び目的

放射線治療は、手術療法、化学療法とともにがん集学的治療の三本柱の一翼を担う重要な治療手段である。

近年の放射線治療機器および放射線治療技術の進歩は目覚ましく、強度変調放射線治療、強度変調回転放射線治療、画像誘導放射線治療、定位放射線治療などの高精度放射線治療が可能となり、高度放射線治療では、“がん”の周囲正常組織に照射される放射線を低減しつつ、“がん”に高線量を集中させることが可能である。

今回、2016年に導入した第2リニアック（医療用加速装置）および関連するシステムの賃貸借による更新を計画している。

地域がん診療連携拠点病院に指定される当院は、本システムの更新により、高精度な治療がより正確にかつ、より安全に実施可能となり、最先端のがん治療に大きく寄与するものである。

以上のことから、本システムの更新は、現状の治療をより効率的にするとともに、最新の技術を導入し、放射線治療成績の向上と患者の安全性を担保した放射線治療システムを構築し、当院の医療の質の向上を目指すものである。

2. 賃貸借（ファイナンスリース）物品及び構成内訳

高精度放射線治療システム ----- 一式

（構成内訳）

1 高精度放射線治療装置

1-1 医療用直線加速装置本体 ----- 一式

1-2 治療寝台 ----- 一式

1-3 マルチリーフコリメータ（MLC） ----- 一式

1-4・5 画像誘導放射線治療機能（kVイメージャー、MVイメージャー） 一式

1-6 既設放射線治療装置バージョンアップ ----- 一式

1-7 患者モニタリングシステム ----- 一式

1-8 その他付属品 ----- 一式

2 放射線治療装置用患者位置決めシステム ----- 一式

3 放射線治療マネジメントシステム ----- 一式

4 放射線治療計画システム ----- 一式

5 放射線治療計画支援装置 ----- 一式

6 治療計画用CT装置 ----- 一式

7 付属品および周辺機器等 ----- 一式

上記のほか、既存品の撤去・賃貸借物品の搬入・据付・配線・調整等作業及びこれらに係る費用を含む。

3. 技術的要求要件

- (1) 本賃貸借物件に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は、別紙に示すとおりである。
- (2) 技術的要件は、全て必須の要求要件である。
- (3) 必須の要求要件は、発注者の必要とする最低限の要求要件を示しており、本賃貸借物件の性能等がこれを満たしていないとの判断がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- (4) 本賃貸借物件の性能等が技術的要求を満たしているか否かの判定は、広島市立広島市民病院医療機器選定委員会及び広島市立病院機構本部事務局で実施する入札契約審査会において、本賃貸借物件に係わる技術仕様書に対する提案書やその他入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。
- (5) 本賃貸借物件の構成においては、全て新品であること。引上げ品等使用している場合は落札決定の対象から除外する。

4. その他

(1) 仕様に関する留意事項

- ① 本賃貸借物件のうち医療用具に関しては、入札時点で「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（旧薬事法）」に定められている製造の承認を得ている機器であること。
- ② 本賃貸借物件は、入札時点で製品化されていることを原則とする。ただし、入札時に製品化されていない機器で応札する場合は、技術的要件を満たすことが可能な旨の説明書、開発計画書、納期に間に合うことの根拠を十分に説明できる資料及び確約書等を提出すること。

(2) 提案に関する注意事項

- ① 提案に際しては、提案システムが本仕様書の要求要件をどの程度満たすか、あるいはどのように実現するかを要求要件ごとに具体的、かつ、分かりやすく記載すること。
したがって、本仕様書の技術的要件に対して、単に「できます。」「提案します。」といった文章のみで、その根拠となるデータ等を示さず具体性のない提案書の場合、評価できないため不合格とする。
- ② 提出資料等に関する照会先を明記すること。
- ③ 提出された内容について、ヒアリングを行う場合があり、ヒアリングについて打診を受けた場合は、必ず対応すること。